

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会①の概要

1 開催日時

2021年10月21日（木） 9:30～10:40

2 開催場所

市役所本庁舎3階 303応接室

3 出席者

あかしSDGs推進審議会

・坂下会長、中野副会長、松原委員、西海委員、小野委員、森口委員

4 議事要旨

項目	ご意見	市長等の回答
社会	<ul style="list-style-type: none"> 若者の人口を増やすのであれば、大学誘致を検討するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学と連携したまちづくりは、豊中市や国立市で実施されている。 明石市にもぜひ大学をという強い思いはあるが課題は多い。しかし、10年、20年先を見据えると大学誘致は十分に考えられると思う。大学が設置できれば奨学金や授業料の免除などの検討も可能である。
	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂の機能強化とはどのような取組を検討しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 明石のこども食堂の大きな特徴は、対象者を特定していないこと、食べ物だけでなく支援や相談につなげることである。 安定的な実施に向けて、運用について、市民を信頼し、自由度が高くなるような柔軟な助成制度を引き続き実施していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 明石市では人口が増えているが、日本全体では人口は減少傾向にある。明石においても外国人を受け入れる体制を整えるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの重要な課題は多様性であり、特に国籍と性別である。 外国人に対する偏見も多いので、誤解を解く情報発信が必要である。 今回の市民意識調査で住みやすいと思う人の割合が91.2%であったが、残りの8.8%の方に住みやすいと認めていただけることが重要である。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会①の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> ・Z世代と呼ばれる若い世代に明石市の取組をもっと知ってもらうためにも、アプリなどデジタルを活用した取組を実施すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市は紙媒体が主流となっており、発信方法は工夫が必要である。 ・単に個人が得する施策より、市民が暮らしていく中で基本的にかかる費用を軽減・無料化するベーシックサービスを実施することで、今明石は選ばれている状況である。 ・子育て施策を実施しても子どもが成長すると市から出ていくのではないかと心配されるが、子育てしやすく、やさしいまちだからこそ、民間の調査で全国戻りたいまちランキングで1位になっている。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市などではごみの分別をしっかりとやっている。明石市でももう少し細かく分別してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターの性能が良いため、明石ではプラスチックなどを一緒に燃やし、熱回収するほうが効率が良い。ごみを減らすことは必要であるが、神戸市のようなごみ袋等の有料化は、市民負担も増えるので、本当に環境に負荷がかからない方法を市民と一緒に考えていきたい。
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの持続可能な開発という言葉に興味があり、自分の会社でもあかしSDGsパートナーズの登録を検討している。この制度は、登録者のやりがいにもつながり、波及効果が大いと思う。 ・子ども、子育て支援の施策の充実に加え、雇用の場の確保を図ると男性も戻ってくるきっかけとなる。 ・国宝の姫路城のような安定的に集客できるものを創出する上で、明石であれば海なので大蔵海岸からのウォーターフロントの開発を民間 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsのポイントは、環境、社会、経済の三側面が対立するのではなく、持続可能にしていくことである。 ・商業関係の皆様には、障害者配慮の取組で、多くのご協力をいただき、障害当事者の方にやさしい店舗が増えた。店舗の方には負担をおかけすることになったが、お客が増えて売り上げにつながったとの話も聞いている。こうした社会的側面に取り組むことで経済的にプラスにつながるものがSDGsの特徴である。 ・明石はベッドタウンの要素が強く、市域がせまく、土地も高いことから企業誘致は難しい。 ・周辺の自治体と連携しながら、働く場の確保は検討していきたい。 ・まちの好循環が生まれている明石では、様々なディベロッパーの目が向いており、まだ経済が良くなる要素がある。引き続き、検討し

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会①の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<p>企業と連携してはどうか。</p>	<p>ていきたい。</p>
<p>パートナ ーシップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 明石市の取組は成果として出ており、明石市のSDGsが一過性なものでなく、持続可能なものになってほしい。 • 明石市の取組において、市民の力が非常に大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人口増が目標ではなく、市民の満足度を高めることが重要である。 • 各施策を地域の方とのパートナーシップでやっているからこそ、今の明石がある。
	<ul style="list-style-type: none"> • 計画期間として、あと9年しかない。明石市がSDGs未来都市に選定されたことを知っている市民が少なく、市民とどのようにSDGsに取り組んでいくのか。市民一人ひとりにSDGsを浸透させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 明石市の取組を周知することはまだまだ足りていない。 • 長期総合計画の法的な策定義務がなくなったが、大きなまちづくりの方向性は市民と一緒に定めていきたいとの思いからSDGs推進計画を策定している。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会②の概要

1 開催日時

2021年10月21日（木） 11:00～12:00

2 開催場所

市役所本庁舎3階 303応接室

3 出席者

あかしSDGs推進審議会

・坂下会長、四方委員、西野委員

4 議事要旨

項目	ご意見	市長等の回答
社会	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の件で、日本の医療が崩壊していることが明らかになった。市としてどのように取り組まれてきたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 明石市は中核市に移行し、保健所を持ったことで柔軟に対応することができた。医療の権限は、県にあるが、明石市には市民病院があるため、連携して速やかに重症患者の受け入れを行った。 民間で採算の合わない救急医療や障害者医療は公的医療として、税金で対応していくべきだと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> まちの好循環を維持するためにも、バランスの取れた人口構造にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 5歳区分の人口構造では、この10年で一番弱いと言われていた0～4歳、30歳前後の人口が増加し、年齢構成のバランスが良くなっている。ただ、18歳、22～23歳の大学や就職の関係で一旦明石市から離れる現状がある。 一方で、全国戻りたいまちランキング1位に選ばれており、一旦離れても、明石で子どもを育てたいという考えにつながり、結果として戻ってきていただいているものと考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級に通う子どもが多いことから、市内にも特別支援学校を設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状では、教育の権限が市にないため、学校の設置は難しい。 明石市では、子ども本人や保護者の希望を重視しているため、特別支援学校より特別支援学級に通っている率が高い。特別支援学級の

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会②の概要

項目	ご意見	市長等の回答
環境	<ul style="list-style-type: none"> ごみの排出量も大きな問題だが、温室効果ガス排出量の問題も重要である。 	<p>充実を図るため、教室などのハード面の整備や教師の質の向上に向けた取組を進めていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 明石市は太陽が出ている時間帯が小豆島と並び日本一長いまちであり、再生可能エネルギーへの対応が可能である。 公共空間を民間企業に貸し出し、太陽光発電を行っているが、他に何かできないか今後検討していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 明石の水産物がなかなか入手できなくなっている。PRしていくのであれば、漁獲量の確保に向けた取組も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の海水は綺麗になりすぎて、栄養塩が不足し、漁獲量減少の要因となっている。海は、国や県の権限だが、市としても豊かな海を目指し、海の生態系に影響を与えないように取り組む必要がある。
経済	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの方向性として、経済中心に考えられてしまう中、明石市がインクルーシブ施策に早くから取り組んできたことは素晴らしいことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 明石市が子育てや福祉施策を実施すると、いつかは財政や経済が破綻するのではないかと懸念する声があったが、現状では財政面は健全で、経済も良くなっている。SDGsの考え方である、環境・社会・経済を統合的にやっていくことで結果的に経済も良くなっている。
パートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> SDGsは市民が社会全体のことを考えて行動する必要があるが、まだ、市民に対するPR・啓発が足りていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、SDGsの目標である「海の豊かさを守ろう」であれば、来年に明石市で全国豊かな海づくり大会が開催されることから、市民レベルでの生態系を維持する取組のほか、ため池のかいほりや学校で環境をテーマに学ぶなど、一丸となって機運を高めていきたい。 企業との連携では、企業版ふるさと納税を活用したプラスチックごみを減らす取組としてマイボトルを配布している。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会②の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> SDGsは市民一人ひとりが取り組まないと大きな成果につながらない。一人ひとりの取組が社会とどうつながり、市の全体の取組とどのように関連しているのか示すことも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsは以前に比べかなり知られてきたが、一人ひとりの取組にいたるまでの状況ではない。現在策定中の計画のスタートと合わせて、市民に対して働きかけたい。 本年度から市内の関係団体、事業者とのパートナーシップによるSDGsの取組の推進を図る「あかしSDGsパートナーズ」を実施しており、まちじゅうに広げていきたいと考えている。
行政運営	<ul style="list-style-type: none"> 一般財源が潤沢でない中、これから扶助費が大幅に増加し、また、インフラの老朽化への対応が見込まれるが、今後の財政運営についてどのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 財政面では、予算を見直すことで、高齢者の予算を削減せず、子どもと福祉の予算を倍にしてきた。また、人件費の削減などの財政健全化に取り組むことで体質が改善されたこともあり、全国初の取組を実施しながら、基金が増加しており、人口も増えたことで国の交付金も増加する予定である。 今後、財政に目途が立ってきたことから、一定必要な職員を増やし、サービス向上に向けた配置を検討したい。
	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎の基本設計はもう終わっているのか。現地建替えとなれば津波などの防災上の課題があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市議会から現地建替えで決議されたため、この決議を尊重して、今進めているところである。 基本設計は着手したばかりであり、防災面に十分に配慮しつつ、市役所は市民のためのものなので、市民にとって使いやすい市役所となるよう検討していきたい。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会③の概要

1 開催日時

2021年10月24日（日） 13:30～14:30

2 開催場所

市役所本庁舎3階 303応接室

3 出席者

あかしSDGs推進審議会

・河村委員、竹内委員、堂本委員、飯塚委員、岩村委員、横山委員

4 議事要旨

項目	ご意見	市長等の回答
社会	<ul style="list-style-type: none"> あかし市民図書館は、障害者の方も使いやすい工夫がされている。他の施設でも導入できれば、住みやすいと感じる人が増えると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> あかし市民図書館では、車いすで行き来できるようにしており、目や耳が不自由な方にも対応できるように配慮している。西部図書館も同様にしていきたい。 図書館の数という課題もある。中核市の図書館の数は、平均 5.3 館であるが、明石市には図書館が 2 館しかない。今後どうするのか議論していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> やさしいまちづくりは、大人向けの施策が多い。もっと、中高生に知ってもらうことで、若い世代に情報が発信できると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達と障害当事者とのふれあいは、小学 4 年生を中心に、手話教室や車いすの体験を行っている。中学・高校でも実施したいと思い、市立の明石商業高等学校でスタートした。 明石商業高等学校では、30 人程度の福祉科を開設し、拠点にしたいと考えている。実習棟を作り、中学生に福祉や介護体験をしてもらう機会を提供したいと考えている。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会③の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> 妹が放課後児童クラブに通っているが、妹や家族から児童クラブの先生や職員の方が大変であると聞いている。 中学生の時、受験前に高齢者の方に勉強を教えてもらう教室があった。多世代間の交流ができるいい機会であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブは、都道府県や市町により制度としてバラバラであるが、明石市は特に力を入れている。 明石市では希望する人は必ず受け入れるようにしており、先生も資格のある2名を配置している。全国市長会は、先生は1名との見解だが、明石では充実を図りたい。 地域の高齢者との交流や学習支援などは順次実施している。
環境	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す、国際社会や日本政府が言っているため、市民は市がしてくれるものと思っているのではないか。 市が実現するための手本を示せば、市民にも取組が広がり、意識も変わるのではないか。 市役所の壁面に太陽光パネルを張れば、発電効果とインパクトがあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsで重要なのは、パートナーシップであり、行政だけでなく、市民や事業者、地域の方々と一緒に取り組むことが重要である。 市民の身近な取組として、今年度に蓄電池の補助を行ったが、当初の予想を超える申請があった。また、来年の全国豊かな海づくり大会を契機とし、一丸となって機運を高めていきたい。 こども研修センターに太陽光パネルを設置した。再生可能エネルギーを自治体レベルで実施するのは難しいが、市民へのメッセージとして取り組む姿勢を示していきたい。
経済	<ul style="list-style-type: none"> 市内の遊休地や田んぼに対して市が助成を出して起業家を募り、働く場を提供すれば、人も定着するのではないか。 企業誘致だけでなく、市内で働く人の雇用の確保と安定も守ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国状況を見ると、人気があって、継続しているまちは企業誘致のまちではなく、暮らしやすく安心のまちである。 働く場については、他の自治体との連携により、雇用を確保していきたいと考えている。 企業誘致が有効なのは、過疎地や広範な農業地域である。一方で、明石は市街地のため、住んでいただいて、固定資産税等を納めて頂くことが、まち全体にとってトータル的にプラスに働くと考えるので、市内の雇用の安定と確保については、十分に努めていきたい。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会③の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> • 一部の地域で住宅開発が進み、生徒数が増えて、学校の規模を超えている。 • 新たに家が増える一方で空家も増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人口増加による大きな課題としては、車の渋滞と学校である。渋滞については、新たな道路を整備し、国道2号の渋滞を解消していきたい。学校については、計画的に抜本的な対策を検討していきたい。 • 空家は全国的な問題である。明石市では、危ない空家を市で一旦解体してから持ち主に請求する形で進めている。
行政運営	<ul style="list-style-type: none"> • 市役所庁舎については、決まってから意見を聴かれても、見直すのが難しいので、市民と一緒に考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • コロナの影響もあり延期しているが、再開すれば、市民の意見を聴きながら、環境面やバリアフリーについて検討していきたい。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会④の概要

1 開催日時

2021年10月24日（日） 14:45～15:45

2 開催場所

市役所本庁舎3階 303応接室

3 出席者

あかしSDGs推進審議会

・井上副会長、森川委員、小河委員、山下委員、宮川委員、雪永委員

4 議事要旨

項目	ご意見	市長等の回答
社会	<ul style="list-style-type: none"> 全市民対象のサポート券はありがたかったが、一人一通で届けるのは郵送費や印刷代がもったいなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> サポート利用券は、スピードを最重視するため、一人ひとりに送付した。世帯で集約して送るには逆に人件費が掛かり、ミスも起こる。
	<ul style="list-style-type: none"> ここ30年ほど交通事故件数は減少傾向にあるが、横断歩道の事故は全く減っていない。音響式信号機は、障害者、子ども、老人には重要であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 信号機の設置は県になり、維持管理費も掛かるため、純増は難しい。 悲しい事故が起こる前に一緒に声を上げて対応していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスへの第6波への備えが必要であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6波に備えて、年内に医療従事者、年明けから高齢者の3回目のワクチン接種を始めたい。 ワクチンを打ちたい方には、個々の状況に応じて障害のある方や高齢者にも寄り添う形で対応する。一方、打たないと判断した方も差別を受けないように取り組んでいきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターを今後どのように展開していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターは、厚生労働省の依頼を受けて実験的に市で始め、いずれ国の制度にする方向で進めていきたい。 今後、養成したサポーターを現場の支援にいかにつなぐかが課題である。サポーターが施設のボランティアに行き、さらに実地と研修を経て在宅支援に繋げる制度設計を考えている。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会④の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> 学校でのICT化が進み、iPadが一人一台導入されているが、テレビとの相性が悪いのでプロジェクターを導入してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ITに詳しい職員を市で採用し、先生のサポートをしてもらっている。今後、学校のICT化を進め、子ども達に配布しているiPadをさらに活用できるようにしていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 介護の現場は即戦力が必要である。明石商業高等学校の福祉課は必要であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に人口の7%が障害者と言われ、30万人であれば2万人程度、精神障害と認知症を入れると1割を超え、当事者だけでなくその家族や支援者を入れると非常に多くの人に関わることになる。 施設を作り、在宅介護もしっかりと支援したい。また、それを担う人材育成も喫緊の課題であると考えており、まち全体で応援していく方向で、明石商業高等学校に定員は少なくとも福祉課を設置し、中学生にも実習棟などで手伝いや実習ができるようになれば良いことだと考える。
	<ul style="list-style-type: none"> きんもくせいプロジェクトは、市内の小中学校でもあったら良いと思う。カードを提示すれば生理用品をもらえる仕組みが良い。障害があっても伝えにくい子ども意思表示しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> きんもくせいプロジェクトは、庁内の女性職員中心に進めている。保健室の先生からとても重要であるとの意見をもらい、明石商業高等学校で4月から実験的に設置し、このたび、高丘の小中一貫校に設置した。来年4月から、すべての小中学校でトイレに生理用品を設置したいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 10年先の明石を見据えて、今後は、若い人と女性のエンパワーメントが一層大事になる。 市長が就任してから人事異動が多くなっているが、職員の研修に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市長に就任した当初に市議会の女性の数を3分の1以上にする条例案を出して否決されたが、結果的には、定数30人のうち9人が女性議員となった。 男性ばかりだと政策決定などの場面で見落としが起る。「きんもくせいプロジェクト」はその一例である。 人事異動は、コロナ対策での事例のように、重要事業については、年度途中であっても、速やかに体制を整える必要があり、事業が終

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会④の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> 心理師（心理士）を目指しているが、福祉施策を推進するのであれば、福祉士や保育士だけでなく、心理師（心理士）にも目を向けてほしい。 	<p>われは年度途中でも異動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材育成は強く意識しており、職員をしっかり育てていきたい。 学校現場やこどものテーマは、法律職、福祉職、心理職が必要であると考えており、市長に就任した1年目に全国初で5人の常勤弁護士を採用し、2年目には臨床心理士を採用し、社会福祉士も全国公募で採用した。その時に採用した心理職が現在こどもセンターなどで中心的な役割を担っている。 日本の心理職の養成課程については、マンツーマン的で課題解決の部分弱い。そのため、周辺のトラブルや家族関係の悩ましさを含めて調整できる人材・心理師（心理士）になってほしい。
経済	<ul style="list-style-type: none"> 朝霧駅にも快速電車を停車し、ホームドアを設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 明石市はJR西日本と協定を結んでこれまでも通勤快速の大久保駅停車やホームドアの設置などを進めてきた。山陽電鉄にも順次駅のバリアフリー化をお願いしている。命や安全については、お金をかけてでもしっかりやっていきたい。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会⑤の概要

1 開催日時

2021年10月24日（日） 16:00～17:00

2 開催場所

市役所本庁舎3階 303応接室

3 出席者

あかしSDGs推進審議会

・向井委員、坂口委員、木戸委員、伊藤委員、川下委員

4 議事要旨

項目	ご意見	市長等の回答
計画全体	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の体系として、各柱に3つの展開の方向がある。現在、柱にKPIを設定しているが、特定の展開の方向には適切であるが、他の展開の方向の指標としては機能を果たしていない。 ・KPIの設定は柱に1つずつではなく、展開の方向ごとに設定してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が多いと計画がわかりにくくなるため、1つの柱に対して1つの目標を設定した。 ・目標を設定するに当たり、市として対応可能なテーマを設定することも考えられるが、市民と一緒に達成する目標の方が望ましい。 ・KPIをどう設定するかは、引き続き、検討したい。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあり、支えてほしい人が増えており、ボランティアの人数が足りていない。地域づくりの制度は整備されてきたが、実際に動く人が足りていないので、ボランティアの育成という観点も施策に入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂では、中間支援、活動支援、助成金などを行うことで地域に運営を担ってもらっている。認知症サポーターは、厚生労働省と調整して実際の活動につなげるように進めているところである。 ・こうした施策では、一部の人に負担がかかりがちになっているため、活動拠点の整備、連携強化、育成に対する助成などを市としてしっかりやっていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうあ者にとって、手話がコミュニケーションのツールであり、目で見える情報が重要である。 ・手話言語条例などが制定され、以前より良くなっているが、自治会や 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話言語条例の制定や合理的配慮の提供を支援する助成制度を実施しているが、まだ道半ばであり、現在策定中の計画の制定にあわせて、新年度予算でもさらなる拡充を図りたい。

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会⑤の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<p>町内会の取組に参加しづらい状況があったり、学校においても、音だけの情報があったりする。特に聞こえないこどもは、分からなくても黙ってしまったり、遠慮したりする場合がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> イメージとしては、まちじゅうバリアフリー、まちじゅうボランティアとして、まちのみんなで、空間も人もしっかりやっていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターの養成において、聴覚障害を持った高齢者の特性も指導内容に入れてほしい。 明石市で聴覚障害を持った高齢者が住み慣れた地域で暮らせるようにグループホームなどを整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座では、認知症の知識のみならず、現場で支援する際に必要な幅広い知識を想定した内容としている。 また、専門性の高い講座も開設し、実際の支え手になれるように制度化していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者の方から地域の情報が回覧板しかなく、情報がないため災害時に不安であると聞いている。 自治会にボランティアがあれば、対応できると考えるが、自治会加入率が減っている。加入率を上げることができないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会が重要であることは認識している。小学校区単位のまちづくりを応援するべくコミュニティ創造協会に市の職員を派遣したり、自治会活動の負担軽減と宅建協会と協定を結び加入促進に取りくんできたが、加入率については、高いところで9割、少ないところで半分ぐらいとばらつきがある。 自治会は任意団体であり、加入強制できないが、引き続き、加入しやすい状況を整えていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> SDGsは世界共通の目標であり、17のゴールに向けてしっかりとやっていくものである。みんなの意見をまとめることも大事だが、いろいろな意見を聴いていくことが、さらに高みにつながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期総合計画は作らないといけない時代ではない。ただ、市民、地域、事業者と一緒に議論し、SDGsに取り組むことに意味がある。いろいろな意見が出る機会を確保することが大切である。
	<ul style="list-style-type: none"> いじめや児童虐待の問題は顕在化しにくいと思うが、問題の把握はどうされているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめは、隠蔽されやすいテーマであるが、意識して早めに把握するように努めている。 児童虐待については、リスクのある子どもを把握するとともに、学校に児童虐待のマニュアルを配布し、該当する場合は連絡するようにしているからこそ、通報件数が多くなっている。 不登校は、少なくない。このたび、不登校の子どもが学校から離れて、ゆっくり過ごすことができるフリースクールを設置した。不登

あかしSDGs推進審議会委員と市長との意見交換会⑤の概要

項目	ご意見	市長等の回答
	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもは社会の宝、まちの未来であるが、親が苦勞して子育てしないと生活していく大変さが子どもに伝わらないのではないか。親が子どもに行動で示すことは重要である。親育ても必要ではないか。 • こども食堂が設置されたが、もっと助けないといけない子どもがいるように思う。支援につながっていない面もあるのではないか。 	<p>校は難しい問題であり、しっかりと対応していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行政として、しっかりと子育てできる環境を整備することが大切である。 • こども食堂に来る子どもだけを助けるのではなく、地域での気づきや情報共有の場としていくことが重要である。 • 子どもの貧困は見えにくく、続けていくことでいろいろな気づきにつながるものと考えている。
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 第2回審議会では、環境面の数値目標として概ね温室効果ガス排出量とする方向であったが、第3回ではごみの排出量となっていた。 • 温室効果ガスは様々な要素が換算されることから、すべてが市の取組による成果とは言えないが、SDGsの目標として適切ではないか。 • 自分の経験から、指定ごみ袋が導入されるとごみに対する意識が変わるので、是非導入してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 第2回審議会では、環境面の数値目標として、審議いただいたが、今回は柱に KPI を設定するように見直したため、柱1において市民に身近でわかりやすい目標として、ごみの排出量に変更した。 • 柱1として、どのようなKPIが良いか、引き続き、検討したい。 • 指定ごみ袋制度やごみの有料化については、問題意識を持っている。 • クリーンセンターの性能が良いため、プラスチックと一緒に燃やし、熱回収するほうが効率が良い。環境面の影響も配慮して、しっかりと検討したい。 • プラスチックの分別は、国の方針に従って進めたいと考えている。
行政運営	<ul style="list-style-type: none"> • 新庁舎が建て替えられると聞いているが、議会を傍聴した際に手話通訳が見えにくかったこともあるので、議場に大型スクリーンやビジョンを設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 市役所は市民のものであるので、新庁舎の設計は市民の意見を聴いて検討していきたい。